武　一　中

令和３年４月２３日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ３－３号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

朝礼とグラフの感想

校　長　　中嶋　建一郎

２０日の放送朝礼後に書いてもらった感想や意見の一部を紹介します。

●校長先生が「日本人は理想が高いのかも」と言っていた。僕は韓国から来たので、この言葉に共感した。韓国にいるときは、他の人達は「完成したから終わり～」と時間が余っているのに言っていた。しかし、日本では、早く終わったなら色ぬり。色ぬりをやったら発表の準備。発表の準備が終わったら色塗りのチェックと何度もくり返していた。日本人は、高い理想に少しでも近づけるように努力しているのではないかと考える。

○日本人の理想が高いというところには共感した。自分自身も他人にどう思われているかというのをよく気にしている。しかし、自分の評価は他人のほかにも自分で決められる。そのことを最後の自己肯定感の話から思った。良さを素直に認めることは悪いことではないのだと思い、もっと良さを増やして自分自身に満足したいと思った。

●私はこのグラフを見て、日本の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は他国に比べ、圧倒的に低いと思った。日本人は例えば、お土産を渡すときに「つまらないものですが…」などと言うようにひかえめなのだと感じた。それは日本人の良さでもあるが、多くの国の人と関わる時には自分をアピールすることも必要だ。小さな成功体験を積み重ねて自信をつけて自分を認めることが大事だと考えた。

○日本とアメリカの比較をすると、日本人は物事をネガティブに感じ取ったり、不安になることが多く、アメリカ人はその反対にポジティブ思考なのかもしれないと思った。日本人にそれが見られないのは、自己主張が強い人は周りに嫌われてしまうから、このような結果になるのかもしれない。

●自分の意見をしっかり言い、失敗を恐れないことが大事であると思いました。僕も自分に十分満足できるように積極的に自分を高めていきたいです。また、互いを尊重し合って自分に満足できる人を増やしていきたいです。

○はじめての中学生になってからの朝礼で小学校とは全然違うなと思いました。小学校では校長先生が思ったことを話していたが、中学校では国全体に関わるようなことを言っていて、とても驚きました。

●私は日常的に自分に満足することがあっても「そう思う」とは回答しないと思います。目標が達成され満足感が生まれても、次にまた新たな目標が生まれ、それを達成しようと思うからです。

○日本人は欲があるんだなと思った。

●日本人が一番「自分自身に自信がある（満足)」というパーセンテージが少ないのは、国自体（日本人）が理想が高い（頑張り屋）なのだろうなと思った。

○自己肯定感があるのも当然いいと思ったが、もっと自分はできるから満足してないのも良いと思った。

●日本は自分に自信がない人が多いのではなく、自信があることを伝える勇気がないだけなのではないかと思った。理由は、私がアンケートを書いたとき、自分を高く評価したら、それを見た誰かから変なイメージを持たれるのではないかと考えていたから。

○日本人の理想の高さや奥ゆかしさは、良いことでもあり、悪いことでもある。私は校長先生の話を聞いてそう思った。もっと自分の長所を素直に認め、短所を修正できるような人間になりたい。

●先生たちがその様なことをしているのは知らなかった。

○（自分自身に満足している）＝（幸せ）だと思います。幸せになれるように自分の目標に向かって、日々挑戦し続けることが大事だと思います。

●日本の教育は集団に皆が合わせるような仕組みだと思います。しかし、アメリカなどでは一人一人のユーモア、個性を大切にする方針で教育されています。なので、アメリカなどでは個性が尊重されることが多いので一人一人が自分自身に満足することが多いと思います。それに比べ、日本は集団の中なので、集団の中で成績の良い人などが自分自身に満足できます。その代り成績が低い人は集団の中で劣等感を感じます。自分自身に満足できない人がどの国よりも多い理由だと思います。

○私は日本人は他国の人と比べて満足していない人が多いと感じた。そして、私は、自分自身どちらかといえば満足している方ではあると思うが、日本人の性格上、主張が弱いというのは分かる。先生たちは興味深い研究をしてるなと感じた。

●自己肯定感は高すぎても低すぎても良くないのではないかと思う。高すぎると、自分の成長を止めるようなことになってしまうし、低すぎても自分に自信がなくなってしまうから自分に少し厳しめぐらいがちょうどいいと思う。

○自分に満足しないということは、より良くなろうと思えるので良いのではないかと思った。このグラフを見て、日本人はなかなか満足しない民族なのだと感じた。

●授業や学校生活の中で自己肯定感を高めることができたら、きっと自分の心にも余裕が生まれるのではと考えた。自分の行動が隅々まで見えているのは自分だけなので、そんな素の自分を好きになるというのは人格として素晴らしいのではと思った。

○自分に厳しくあるのももちろん必要だと思うけれど、自分の良さを大切にして自分を肯定してあげることも大事なのだと感じた。まず自分を大切にしてあげることで他の人とのことも大切にできるのかなと思う。

●自分は満足しているので、少なくてとても驚いた。クラスでも控えめな人が多いので、このグラフを見て納得しました。